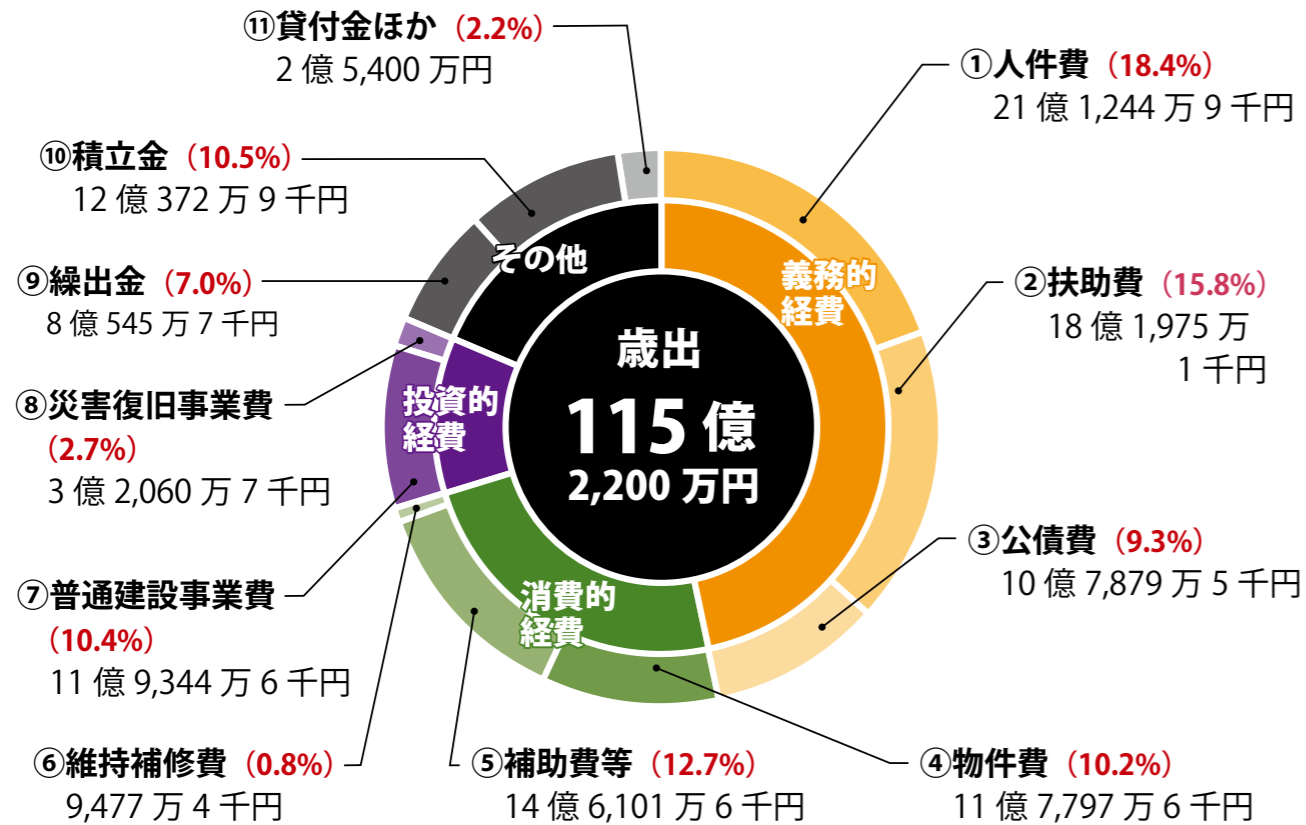


# 一般会計 歳出



## 歳出について

性質別では、投資的経費が前年度比3億842万9千円(+25.6%)の増となりました。そのうち普通建設事業費は市道・農道・林道整備事業等の増により前年度比1億8,470万5千円の増、災害復旧事業費は元垂水原田線の地すべり災害復旧事業及び垂水島津家墓所災害復旧事業により前年度比1億2,372万4千円の増となっております。

### 性質別歳出割合

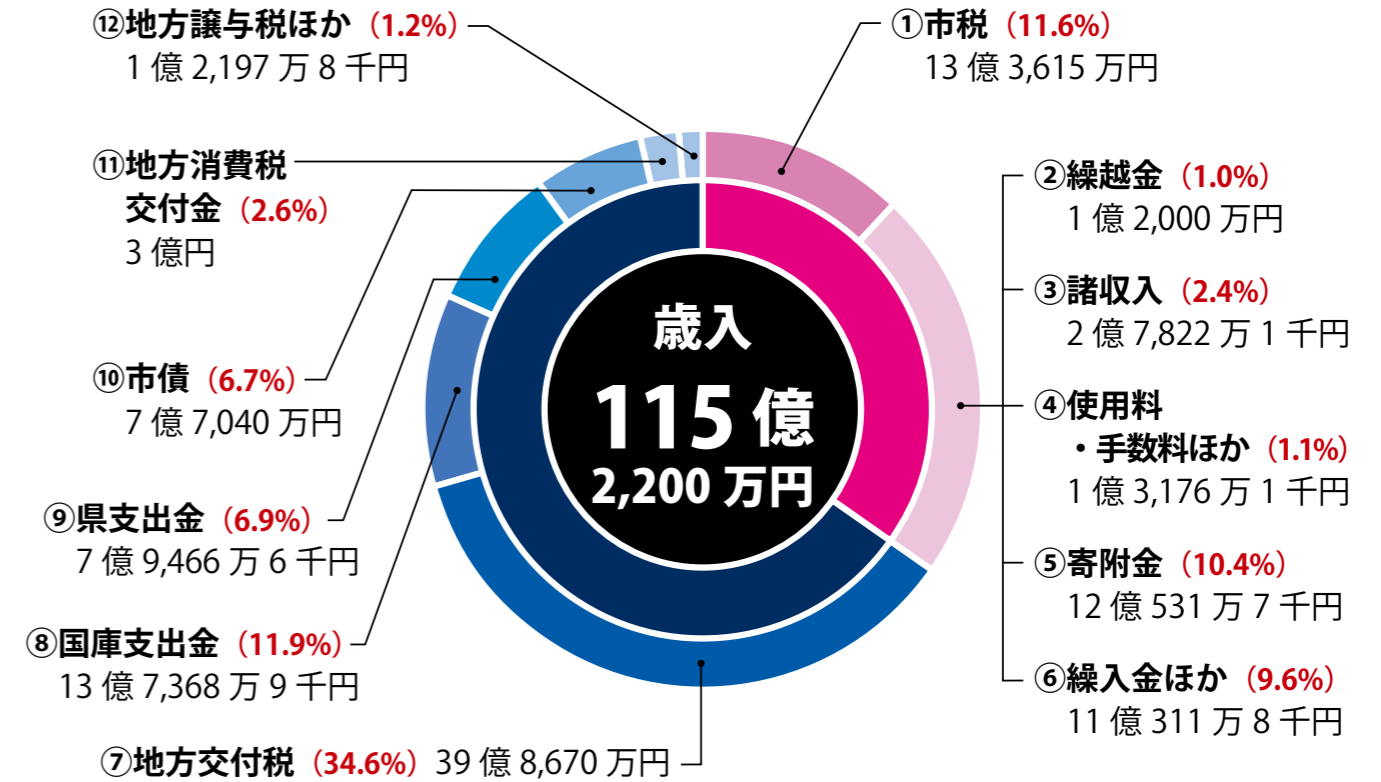
<b>■ 義務的経費 (43.5%)</b> <b>50億1,099万5千円</b> <small>※義務付けられている経費</small>	<b>■ 投資的経費 (13.1%)</b> <b>15億1,405万3千円</b> <small>※道路建設などの公共事業費や国および県等の公共事業への負担額</small>
<b>■ 消費的経費 (23.7%)</b> <b>27億3,376万6千円</b> <small>※形を残さない性質の経費</small>	<b>■ その他経費 (19.7%)</b> <b>22億6,318万6千円</b>

## まとめ

市の予算は、上記の一般会計に加え、国民健康保険や地方卸売市場等の8つの特別会計と水道事業及び病院事業の2つの事業会計から構成されています。財政運営においては、ふるさと応援寄附金等による歳入確保、定員適正化計画等による人件費の抑制等を進めることで財務諸表等の数値は概ね改善されてきました。

しかし、本市の財政状況は、地方交付税をはじめとする依存財源の割合が大きく、国の状況で財政運営が左右される財政構造から脱していないため、今後も弾力的で足腰の強い財政構造を構築し、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図ってまいります。

# 一般会計 歳入



## 歳入について

市税は、コロナウイルスに伴う景気後退が見込まれることから、13億3,615万円(▲0.2%)を計上し、本市歳入の柱である地方交付税は、国の地方財政計画を参考に39億8,670万円(+1.8%)を計上しています。また、市債は、道路橋梁整備事業等7億7,040万円(+11.6%)を借入れる予定です。そのほか、事業にあわせ国県支出金を約21億6,835万5千円、ふるさと応援基金等からの繰入金を約10億8,107万円1千円計上しております。なお、ふるさと応援寄附金は、12億円を計上しております。

### 自主・依存財源割合

<b>■ 自主財源 (36.1%)</b> <b>41億7,456万7千円</b> <small>※垂水市が自ら収納できる財源</small>
<b>■ 依存財源 (63.9%)</b> <b>73億4,743万3千円</b> <small>※国・県からの交付金や借入れによる財源</small>

## 市民一人当たりの当初予算

# 833,900円

令和4年度一般会計当初予算の115億2,200万円という数字をイメージしやすいように、市民のみなさん一人あたりに相当する歳出額(支出する金額)を算出しました。今年度は、833,900円/人で昨年度の765,590円/人より、68,310円の増額となりました。

